

富山短期大学（取組期間：平成26年度～平成30年度）

テーマ名：テーマⅡ（学修成果の可視化）

事業の概要・目的

（大学の課題）

本学は、建学の精神・教育理念に基づいて、「高い知性と広い教養と健全にして豊かな個性をもった地域社会の発展に貢献する人材」の育成を教育目標とし、地域と共に、地域のために有為な人材を輩出することを使命としてきました。

この使命を今後とも果たし続けていくためには、次の3つが課題となっています。

- ① 教員が「何を教えるか」ではなく、学生が「何ができるようになるか」を重視した、教育内容の質的転換と充実。
- ② 「地域における知の拠点」としての役割強化。
- ③ 教育の「質向上」と「質保証」のためのPDCAサイクルの実質化。

（課題解決のための取組）

これらの課題を解決するために、このAP事業では次の5つの取組を行っています。

- ① 教員と学生による、「学修成果」の到達度の数量的把握
- ② 第三者による、「学修成果」の客観的評価
- ③ 教職員、学生への各種情報のフィードバック
- ④ 授業内容・方法の改善のためのFD/SD
- ⑤ 「主体的学び」を促進するための仕掛け作り

人材育成の取組

（養成する人材像・具体的な達成目標）

本学が養成する人材像は、以下の4つの「力」を身につけ「地域社会の発展に貢献する人材」です。

- ① 健全で豊かな「人間性」
- ② 実践の土台となる「実践知」
- ③ 職業人として責任ある行動をとれる「実践力」
- ④ 生涯学び続けるための「主体的に学ぶ力」

この人材像に基づいて各学科・専攻科では、次の5つの能力基準別に具体的な達成目標(学修成果)を各授業で明示しています。

- ① 知識・理解
- ② 技能・表現
- ③ 思考力・判断力
- ④ 関心・意欲・態度
- ⑤ 人間性・社会性

（取組内容）

～「学修成果評価システム」の構築によるPDCAサイクルのシステム化～

具体的な取組内容は、以下の5つです。

1. 「学修成果評価システム」の構築

教員が各授業科目の「学修成果(達成目標)の到達度」を評価・数値化します。

これによって学生の能力特性が把握でき、きめ細かな個別指導が可能となります。

また、学科が目指す「達成目標」の到達度が可視化され、カリキュラム編成や授業内容・方法を見直す判断材料が得られます。

2. 各種「学生アンケート」の実施

毎回の「授業アンケート」は、学生の理解度、興味・関心度、授業への参加度をリアル・タイムで把握でき、直ちに授業改善に反映されます。

期末の「授業アンケート」や学年末の「学修行動・生活調査」では、「達成目標」に関する学生の自己評価や学生自身の「学修行動・生活行動」を把握することで、授業改善や学生の個別指導に役立てることができま。

3. 第三者評価をPDCAサイクルに反映

「第三者アンケート」を実施して、本学の教育の質を第三者の視点から評価してもらいます。また、本学の教育改革の取組に関する課題・問題点をチェックし、PDCAサイクルに反映させるために外部評価委員会を設置しました。

これらは、地域社会から期待される「地域へつなぐ」教育の実現に資すると考えています。

4. 学生への情報のフィードバック

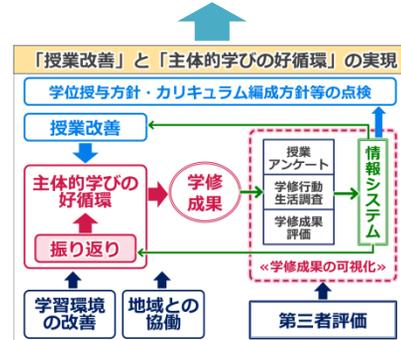
「学生情報ファイル・システム」を構築し、教員による成績評価やアンケート結果等の各種情報を学生にフィードバックすることで、「振り返り」を促し、「主体的学びの好循環」が生まれることを期待しています。

5. 教職員協働による教育改革の推進

教職員間においても、情報共有・協働支援システムを整備して情報の共有を徹底し、全学的なFD/SDを中心に教職員協働による教育改善・改革を機動的に推進していきます。

（卒業後の学生のイメージ）

- ① 豊かな人間性と高度な実践知・実践力を備えた専門職業人材
- ② 地域を活かし、地域を創り、地域に生きる地域基盤人材



（富山短期大学の特徵）

～未来へつなぐ。地域へつなぐ。～

本学は昭和38年に、富山県民の強い要請と厚い支援を得て開学しました。

以来、時代の変化と社会のニーズに対応しながら教育内容の充実を図り続け、現在では、4学科1専攻科を擁する、北陸の代表的総合短期大学となっています。

4学科1専攻科は、以下のような人材の養成を目指しています。

1. 食と健康のスペシャリスト(栄養士)を養成する**食物栄養学科**。
2. 感性に優れ、人間性豊かな保育士・幼稚園教諭を養成する**幼児教育学科**。
3. ビジネス社会・地域社会の発展を支える職業人を育成する**経営情報学科**。
4. 介護・福祉のスペシャリスト(介護福祉士)を養成する**福祉学科**。
5. 管理栄養士を養成する**専攻科食物栄養専攻**。

今後とも、「教員・学生・地域の協働」による「学びの共同体」で、学生の「主体的な学び」を促進し、地域と共に、地域のために有為な人材を輩出し続けていきます。

具体的な実施計画における指標	25年度	26年度(予定)	30年度(目標値)
プレースメントテストの実施率(%)	24.5	26.9	100.0
学修成果別の成績評価の実施割合(%)	0.0	0.0	80.0
学修到達度調査の実施率(%)	0.0	0.0	100.0
学修行動調査(%)	0.0	0.0	100.0
学生の授業外学修時間(時間)	未集計	未集計	20.0
(全科目)授業満足度アンケートを実施学生の割合(%)	46.4	50.6	95.0
授業満足度アンケートにおける授業満足率(%)	78.4	83.2	80.0
退学率(%)	2.3	0.5	2.0
学生の主な就職先への調査	実施	実施	実施

「振り返り」を促す「(毎回の)授業アンケート」



富山短期大学
経営情報学科 2年次
今井 美紀

授業の最後に、「Webシラバス」で行われる「(毎回の)授業アンケート」が、今年度から改善されて、自分が回答したアンケートの内容を一覧できるようになりました。

この結果、授業内容に対する自分の考えがどのように変わったか、理解度がどのように変わったか等について振り返ることができ、授業に対する興味・関心が高まりました。